

目指せ！！「夢・感動あふれる人づくり」 ～実現のための町のGIGAスクール構想～

那須中学校の実践紹介

①生徒総会をオンラインで実施

昨年度から進めている、タブレット端末と通信環境の整備によって、校内の情報伝達方法に大きな変化がありました。

特に、町地域おこし協力隊の福屋氏と協力して整備した「校内独自のオンライン配信システム」は、外部サーバーを介さずにオンライン会議を可能とし、新型コロナウイルス感染対策でオンライン会議が増える中、通信量や稼働時間が増えずに、さまざまな活動が実施できるようになりました。

例えば、オンライン会議やWebアンケートシステム、テキストマイニングを上手に活用することで、双方向の情報伝達と意見集約が可能になります。今年の生徒



オンライン生徒総会の様子

総会では、意見集約や議決の際にオンライン配信システムが大きな役割を果たし、生徒が一堂に会さずとも、内容の充実した生徒総会を実施することができました。

②授業での活用

生徒一人につき一台のタブレット端末が貸与されている点を生かして、生徒への課題を個別に配信したり、生徒同士で意見交換をする等、さまざまな方法で活用しています。これにより、これまで授業で時間や手間がかかったことが短時間で実施できるようになりました。また、紙媒体では生徒の意見は一人一枚しか提示できませんでしたが、データの場合は複数のコピーを瞬時に作成し配信することができ、多くの友人の多様な考え方を知ることができ、生徒の思考の幅が広がっています。



オンライン配信の様子

那須中央中学校の実践紹介

「自主・自律」をキーワードに、生徒の主体性を伸ばすための活動を行っています。

①Googleサイトによるポータルサイトの活用

学級ごとにGoogleが提供するサービスを活用してポータルサイトを整備しました。サイトには健康観察のフォームや朝の会・帰りの会の進行表、毎日の教科連絡の掲示などがあり、カレンダー機能で生徒が予定を管理しています。生徒はこのポータルサイトを軸に学校生活を送っており、主体性を育む上で重要な役割を担っています。

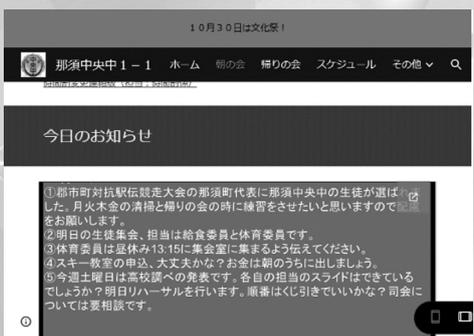
②学級活動支援ツール「classroom」の活用

classroom（クラスルーム）というオンライン上の交流の場を作成し、授業で活用しています。社会科では資料を配信して読み取ったり、英語科ではスライド機能で作成した教材を配信したりしています。classroomの活用は授業の活性化だけでなく、学級活動や生徒会活動を主体的に取り組みきつかけとしての、大切なツールとなっています。これらの機能を使って生徒が学級の仲間に対して連絡したり、委員会活動で行うアンケートを依頼した

り、その用途は多岐に渡ります。学校行事や部活動でも活用しており、今では生徒自らの提案で教師に相談する場面も見られるようになりました。

③NAISUタイムにおけるプログラミング学習

本校のプログラミング教育は「発達の段階に応じたプログラミングのスキルを身につけること」「ゴールを設定し逆算して論理的に思考できるプログラミング的思考を身につけること」を目的に実施しています。そのため、表計算アプリケーションで関数を組む練習をしたり、Webアンケートをグラフにまとめて発表しています。これらをきつかけに、生徒自らの生活をよりよくするためにICT機器をどのように活用すればよいかを考える生徒も増えていきます。



生徒が活用するポータルサイトの一部